

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【公開番号】特開2006-209093(P2006-209093A)
 【公開日】平成18年8月10日(2006.8.10)
 【年通号数】公開・登録公報2006-031
 【出願番号】特願2005-364651(P2005-364651)
 【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/28 (2006.01)

H 0 4 N 5/70 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/20 6 4 1 E

G 0 9 G 3/20 6 4 1 R

G 0 9 G 3/28 K

H 0 4 N 5/70 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月28日(2008.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1フレーム期間を、それぞれの点灯の重み付けが概略等しい複数の第1のサブフレーム期間で構成された第1の期間と、それぞれの点灯の重み付けが概略等しい複数の第2のサブフレーム期間で構成された第2の期間と、に分割し、

前記第1の期間において、前記第1のサブフレーム期間それぞれの点灯期間を順次足し合わせることによって階調表現を行い、

前記第2の期間において、前記第2のサブフレーム期間それぞれの点灯期間を順次足し合わせることによって階調表現を行い、

前記第1の期間は、階調の上位ビットに対応し、

前記第2の期間は、階調の下位ビットに対応し、

前記上位ビット又は前記下位ビットのビット数がいずれか少ない方を構成する複数のサブフレーム期間は、前記上位ビット又は前記下位ビットのビット数がいずれか多い方を構成する複数のサブフレーム期間から選ばれる少なくとも一のサブフレーム期間を間に介して、少なくとも一のサブフレーム期間が選択されることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項2】

請求項1において、前記第1の期間は、点灯の重み付けが2進法に従う複数の前記第1のサブフレーム期間で構成されることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項3】

請求項1または請求項2において、前記第2の期間は、点灯の重み付けが2進法に従う複数の前記第2のサブフレーム期間で構成されることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一に記載の表示装置は、E L ディスプレイであることを特徴とする表示装置の駆動方法。